

参加者募集中

「世界文化遺産」 「にほんの里100選」 の地で米づくり

会場は世界文化遺産に登録された、^{にうっひめ}丹生都比賣神社。
そして神社が鎮座する^{あまの}天野は、にほんの里100選に選
ばれた美しい里です。 ※詳細は裏面をご覧ください



お米はどこから来たのか。
どうして僕たちはお米を食べるのか。
なぜか知らないことばかり
田んぼ学校で勉強してみよう！
実際にお米を作ってみよう！

5月田植え 10月稲刈り
2回の体験セット

日帰り



大人 8,000円
小人 5,000円

税込

現地集合・解散

大人：6,000円・小人：4,000円

(大人：中学生以上 小人：小学生以下となります)

3歳以下のお子様についてはバスの座席と昼食がない限り無料



日程 田植え：平成21年 5月31日(日)
稲刈り：平成21年10月 3日(土)

場所 和歌山県伊都郡かつらぎ町天野^{あまの}
丹生都比賣神社と近接圃場

参加対象者 4歳以上～中学生以下
のお子様とその保護者
(成人／親子に限りません)

募集人数 大阪発80名
(大型貸切バス2台・ガイド無)
現地集合解散20名
※定員になり次第締め切らせていただきます

持参物 軍手・雨具・タオル・
健康保健証(写可)



世界遺産
丹生都比賣神社

創建は今から1700年前と伝えられ、御祭神の丹生都比賣大神は天照大御神の妹神の稚日女命(わかひるめのみこと)ともいい、神代に紀ノ川流域の三谷に降臨、紀州、大和を巡られ、農耕を広め、天野の地に鎮座されたと伝わる。

参加者全員にお土産付き！



収穫したお米を
おひとり 2Kg
後日発送・送料別途ご負担



田んぼ学校

和歌山

5月 田植え



初夏のさわやかな
風に吹かれながら
昔ながらの手植えを体験
裸足で泥に入ったことある？
思ったよりもすべり気持ちはい
けんころつや
小さな苗を育てるのもいい
小さな苗を手でしっかりと
根付かせる
大変だけど
すべり楽しい

10月 稲刈り



力強く実り、ゆれる稲穂
は日本の原風景。
昔ながらの鎌で稲穂を刈
り、収穫します。
稲穂一束がお茶碗一杯の
ごはん。だから昔からお
米を大切に育てたんだ。



どうやって白いご飯になるの
かな？実際に脱穀・もみすり
をしてみよう。手間暇かけた
昔の米づくりを体験。

**「世界文化遺産」
「にほんの里100選」
で米づくり体験**

会場の丹生都比賣神社は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録されています。また、神社が鎮座する、かつらぎ町天野は、朝日新聞創刊130周年・森林文化協会創立30周年記念として人々の暮らしに育まれてきた、すこやかで美しい里として全国100カ所の一つに選ばれています。

天野において
いいところだよ



**知る人ぞ知る
おいしい「天野米」
を作る**

かつらぎ町天野は標高約400mの高原盆地。夏にはホタルが乱舞する清らかで冷たい湧き水で丹誠込めて生産される「天野米」は、知る人ぞ知るブランド米として人気上昇中のお米です。おいしい水と栄養豊富な土、そして天野の寒暖の差が生み出す優れたお米です。みんなでおいしい天野米を作りましょう。

豊作祈願祭



植えた苗が大きく育つように神様にお祈りします。豊作を祈る祝詞（のりと）が捧げられ、むかしからつづいている神聖な行事である田植え行事を体験します。神社での正しい参拝作法や玉串の捧げ方なども学びます。また、神様へ神饌（しんせん）をお供えする体験もします。

お祭りのお手伝い



※田植え・稲刈り各6人募集します（男女不問）

田植え

なんばOCAT 8:00発

車中
お米クイズ大会
お米の基礎知識

丹生都比賣神社

- ①開校式
- ②豊作祈願祭 お祭りのお手伝い
- ③昼食
- ④田植え体験 早乙女体験
- ⑤田植機デモンストレーション
- ⑥閉校式
- こめ油工場の見学 栗野食品工業株式会社

JA直売所 休憩・お買い物

なんばOCAT 18:50頃着予定

稲刈り

稲刈り



5月に植えた小さな苗が、10月には黄金色の稲穂に。田んぼ一面に実った稲穂は感動的です。鎌を使っての収穫作業は地元農家の方とスタッフが指導・お手伝いします。刈り取った稲穂は藁で束ねます。胸一杯に抱えだすしり重たい稲束に収穫の喜びが湧き上がります。収穫した稲は伊勢神宮にも奉納します。

餅つき

むかしから日本人は、神様のお祭りや、めでたい日にお餅を作り、お祝いをしてきました。豊作に感謝しながら、餅つきを通して伝統的な日本の行事と食文化を体験してください。

豊作感謝のお祭りをします。みんなが収穫した稲穂を神様にお供えして、稲が無事に生長したことを感謝し、みんなが豊かに暮らせるようにお祈りします。お米をつくる楽しさといつくしお日本の伝統文化を心と体で満喫してください。

豊作感謝祭



田んぼ学校の他に「草刈り＆フルーツ収穫体験」「伊勢神宮参拝ツアー」などのオプションツアーも企画中です。詳しくは田植え当日に発表します。お楽しみに。

田植え



苗の持ち方、しっかり根付く植え方、昔ながらの田植えに、日本人が長く培ってきた稲作の文化と工夫があります。田んぼに張られたロープを目印に苗を植えていきます。どろんこになりながら一列で協力しながら植えます。

早乙女体験



田植の日に苗を植える女性のことを早乙女（さおとめ）と呼びます。神様に奉仕する役でもあります。むかしから田植えの際はハシ着を着た早乙女が最初に田植えをして豊作を願いました。

早乙女募集

身長140cm以上の女の子・限定5人募集
※田植えのみ

こめ油工場の見学

協力：栗野食品工業株式会社

お米は白米として食べるだけでなく、精米したときにできる「米ぬか」から食用油もできます。栗野食品工業株式会社では米ぬかを100%原料とした食用油を製造しています。お米のいろいろな使い方を実際に見て学びてください。



保護者の方へ

「田んぼ学校」は、「稲作」体験を通して日本人がどうしてお米を食べてきたのか、お米はどのような植物なのか、その歴史から植物学的な面からもアプローチして「日本人とお米」を再発見する学校として毎年開催しています。近年お米の国民一人あたりの年間消費量は減少を続けるなど、稲作の将来は危うくなっています。私たちが子どもたちに残したいもの。その一つに「稲作」があります。そして、「稲作」を通して培ってきた日本人の心も守っていききたい。それが、わたしたちの役目と思っています。

早乙女・お祭りのお手伝いを希望される方は申込み時にスタッフに伝えてください

（注意事項）コース表に記載されている時間は目安であり、交通事情や天候で変更になる場合があります。また農業体験についても天候により異なる場合があります。写真はイメージです。

■食事条件・昼1回■最少催行人員：35名■添乗員：出発地より同行し、旅程管理業務を行います。■ご参加のお客様には、旅行当日アンケートにご協力頂きます。■旅行代金に含まれるもの（行程表に表示の往復交通費、昼食代（田植え・稲刈り各1回）、各種イベント費用。■受付：2名様から受け付けます。■この旅行には取引条件書に記載の特別保障保険が付保されております。なお、お客様のご要望によって、別途、任意の保険をお申込み頂くことも出来ます。詳細は専用パンフレットをご覧ください。■その他の事項につきましては、当旅行業約款によります。

旅行企画・実施



観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社農協観光
西日本グリーンツーリズム支店
総合旅行業務取扱管理者 朝田幸利

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-39 大広新大阪ビル3階



総合旅行業務管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業店での取引責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記総合旅行業務管理者にご質問ください。

お問い合わせ・お申込は

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前に確認の上、お申し込下さい。

TEL06-6391-2760 FAX06-6391-2817

http://ntour.jp E-mail:nishinihon-green@ntour.co.jp

営業時間9:30~17:30（土・日曜、祝日除く）

（株）農協観光西日本グリーンツーリズム支店